

山口学芸大学・山口芸術短期大学とのICT連携協定締結について

西日本電信電話株式会社 山口支店(支店長:山下 剛史、以下、NTT西日本 山口支店)は山口学芸大学・山口芸術短期大学(学長:三池 秀敏)と地域振興及び産業振興の分野において、密接な連携協力を図り、人材の育成と活力ある個性豊かな地域社会の発展に寄与することを目的にICT連携協定を締結しました。

1. ICT連携協定締結に至った経緯

山口学芸大学・山口芸術短期大学は「プロジェクト型課題解決演習(以下、PBL*)」を導入しており、PBLを通じ、課題解決能力・企画運営能力を発揮できる実践的な人材の育成を進めています。NTT西日本山口支店においても、ICT分野においてこれまで培ってきた経験や先進性の高い技術を活かした社会課題の解決ができないかと検討を進めていました。このような背景のもと、ICTを利活用し、相互に連携・協力体制を強化し、双方の強みを生かして地域社会の活性化に取り組むことで両者が合意し、今回のICT連携協定の締結に至りました。

*Project Based Learningの略

プロジェクト型課題解決学習と訳され、企業等の課題(テーマ)に対し、学生自身が、少人数グループで課題を解決するためのプロジェクトを企画し実践する。

2. 連携・協力する内容

主な事項は次のとおりです。なお、具体的な取り組み内容及び実施方法につきましては、双方で協議のうえ決定し、進めてまいります。

- (1) ICT技術を活用した人材育成に関すること。
- (2) 課題解決の実施に伴う実務者の交流に関すること。
- (3) その他連携協力の目的に沿った事項に関すること。

3. 今後の展開

山口学芸大学・山口芸術短期大学とNTT西日本山口支店は、今回のICT連携協定締結を契機に、地域を取り巻く環境・課題の洗い出しやアイデア創出を通じ、地域社会の発展に向け取り組んでまいります。

(別紙)PBLテーマ「交流センターにおけるICTの利活用デザイン」

【本件に関するお問い合わせ先】

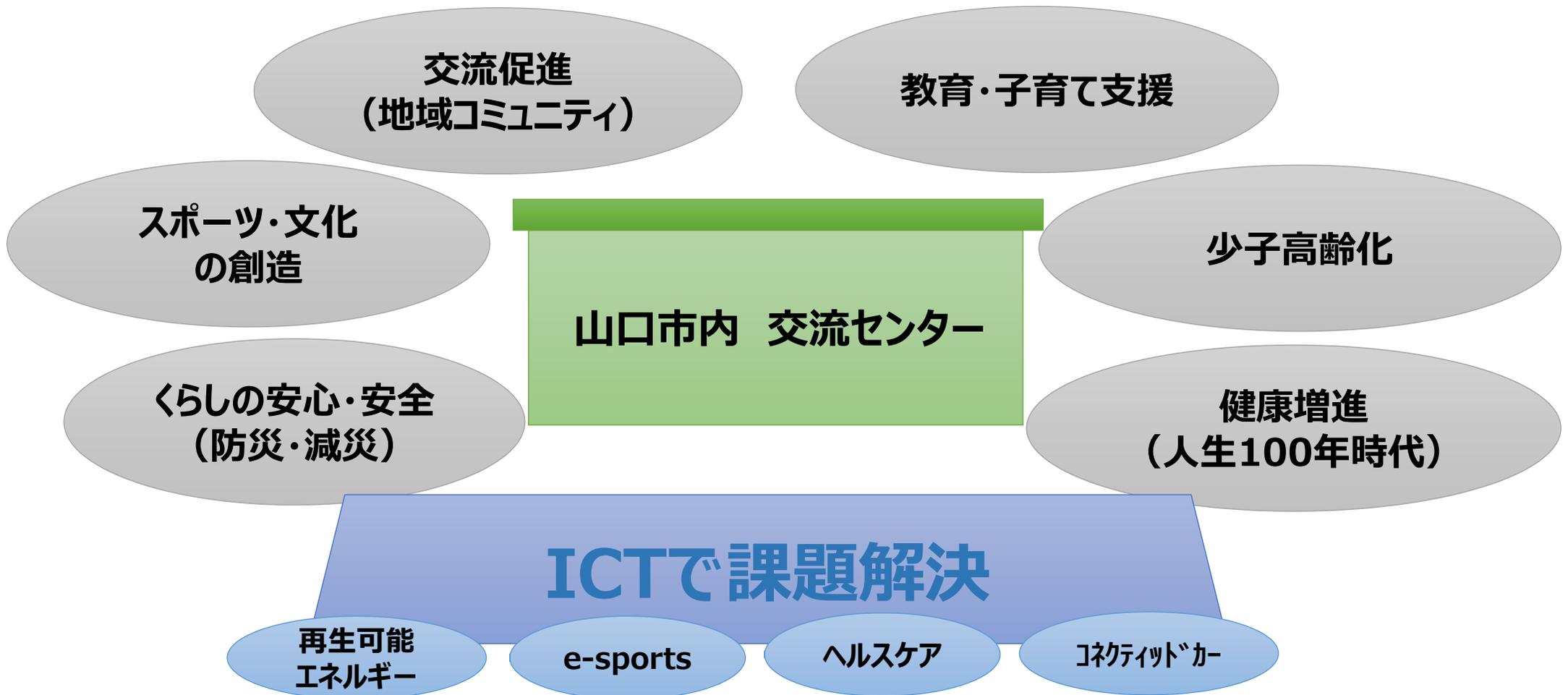
NTT西日本 山口支店 総務担当
TEL:083-923-4232

※電話番号をお確かめのうえ、お間違えのないようお願いいたします

審査19-1961-1

PBLテーマ：交流センターにおけるICTの利活用デザイン

■ 山口市内の交流センターの平時・非常時求められる機能について、地域の自治会、住民へのヒアリングや共同検討・イベント等の企画実践を通じ、ICTを活用した利用シーンのデザイン



*「プロジェクト型課題解決演習 (PBL)」とは、学生がチームを組んで、実社会に存在する課題をテーマとして主体的にプロジェクトを企画実践すること

(別紙) P B L の取り組みイメージ

